



平成 24 年度グローバル人材育成推進事業（タイプB特色型） 「国際的視野を持ったアグリバイオリダーの育成」プログラムの 「キックオフミーティング」を開催

概要

グローバル人材育成推進事業「国際的視野を持ったアグリバイオリダーの育成」プログラムの「キックオフミーティング」を平成 25 年 1 月 9 日（水）、10 日（木）に西鉄グランドホテルにて開催します。

九州大学農学部が望むグローバル人材像は『次世代農学（アグリバイオ）の広範な基礎知識と各々の専門分野の知識・技術を修得し、農学を取り巻く地域・地球規模の課題を解決するための汎用技能（多文化・異文化に対する知識、問題解決力、論理的・創造的思考力等）と俯瞰的視野を持って把握し、国際的にリーダーシップを発揮できる人材』と捉えています。そのような人材を育成する本学の取組を、学内外の方々へ広く知っていただくとともに、本事業に協力予定の国外の大学からご参加いただき、各大学独自の英語教育についてご紹介いただきます。

背景

「グローバル人材育成推進事業」は、国公立大学を対象に、若い世代の「内向き志向」を克服し、国際的な産業競争力の向上や国と国の絆を強化する基盤として、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる「人財」の育成を図るため、大学教育のグローバル化を推進する取組に対して重点的に財政支援を行う、本年度から実施する文部科学省の事業です。

九州大学では、農学部のプログラム「国際的視野を持ったアグリバイオリダーの育成」プログラムがタイプ B(特色型)に採択されました。

プログラムの内容は、別添資料を参照ください。

内容

- 日 時 平成 25 年 1 月 9 日（水）、10 日（木）
 - ▶ 9 日（水） 10：00～17：00 セッション
17：30～19：30 レセプション
 - ▶ 10 日（木） 9：30～12：00 セッション
- 会 場 西鉄グランドホテル（福岡市中央区大名 2-6-60）
- プログラム 別紙のとおり
- 使用言語 英語

【お問い合わせ】

農学研究院 中尾 実樹 教授
TEL：092-642-2894
農学部グローバル人材育成推進プロジェクトオフィス
TEL：092-642-3104
E-mail：gjinzai@agr.kyushu-u.ac.jp
Website：<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/Gjinzai/>

文部科学省 グローバル人材育成推進事業(タイプB特色型)
 国際的視野を持ったアグリバイオリダーの育成
キックオフミーティング プログラム

1月9日(水)

時間		所要時間	式次第	内容
開始	終了			
10:00	— 10:10	0:10	オープニング	九州大学総長挨拶 文部科学省挨拶(代読)
10:10	— 10:45	0:35	本プロジェクトの説明	農学研究院長 ALC教育社
10:45	— 11:00	0:15	産業界が求める グローバル人材像	味の素株式会社
11:00	— 11:40	0:40	キー・ノート レクチャー	カリフォルニア大学デービス校 エクステンション(アメリカ)
11:40	— 13:20	1:40	昼食	
13:20	— 13:40	0:20	海外大学における英語教育	ハノイ農業大学(ベトナム)
13:40	— 14:00	0:20		ハノイ水資源大学(ベトナム)
14:00	— 14:20	0:20		ガジャマダ大学(インドネシア)
14:20	— 14:35	0:15	休憩	
14:35	— 14:55	0:20	海外大学における英語教育	江原(カンウオン)大学校(韓国)
14:55	— 15:15	0:20		ホーエンハイム大学(ドイツ)
15:15	— 15:35	0:20		カセサート大学(タイ)
15:35	— 15:50	0:15	休憩	
15:50	— 16:10	0:20	海外大学における英語教育	チェンマイ大学(タイ)
16:10	— 16:30	0:20		キングモンクット工科大学トンブリ校(タイ)
16:30	— 16:50	0:20		香港城市大学(中国)
16:50	— 17:20	0:30	写真撮影	(ホテル3階)
17:20	— 17:30	0:10	休憩	
17:30	— 19:30	2:00	レセプション	

1月10日(木)

時間		所要時間	式次第	内容
開始	終了			
9:30	— 9:40	0:10	産業界が求める グローバル人材像	海外農業開発コンサルタント協会 株式会社三祐コンサルタント
9:40	— 10:00	0:20	海外大学における英語教育	ジョージア大学コスタリカ校(アメリカ)
10:00	— 10:20	0:20		ジョージア大学(アメリカ)
10:20	— 10:40	0:20		忠南(チュンナム)大学校(韓国)
10:40	— 10:55	0:15	休憩	
10:55	— 11:15	0:20	海外大学における英語教育	フィリピン大学ロスバニョス校(フィリピン)
11:15	— 11:35	0:20		フィリピン大学ビサヤ校(フィリピン)
11:35	— 11:55	0:20		カンザス州立大学(アメリカ)
11:55	— 12:00	0:05	終了挨拶	農学研究院教授



PROJECT FOR PROMOTION
OF GLOBAL HUMAN RESOURCE
DEVELOPMENT
**DEVELOPMENT OF AGRIBIO LEADERS
WITH AN INTERNATIONAL PERSPECTIVE**

Kickoff Meeting
Faculty of Agriculture, Kyushu University

Key Note Lecture

Dr. Janis WILLIAMSON
Director, International English &
Professional Programs,
University of California, Davis Extension

Mr. Nariyuki FUJITA
Academic Coordinator / Chief Officer,
Institutional Relations for Japan,
University of California, Davis Extension

2013
January 9th 10:00-17:00
January 10th 9:30-12:00
(Reception January 9th 17:30-19:30)

Nishitetsu Grand Hotel
2-6-60 Daimyo, Chuo-ku, Fukuoka 810-8587, JAPAN
Tel : +81 92 781 0811
Fax : +81 92 751 8224
<http://www.grand-h.jp/english/index.php>

Confirmed Participants Include:

- City University of Hong Kong
- Universitas Gadjah Mada
- Chungnam National University
- Kangwon National University
- University of the Philippines Los Baños
- University of the Philippines Visayas
- Chiang Mai University
- Kasetsart University
- King Mongkut's University
of Technology Thonburi
- Hanoi University of Agriculture
- Water Resources University
- The University of Georgia
- Kansas State University
- University of Hohenheim
- University of California, Davis Extension

For more information about the project:

Global Human Resource Development Project Office,
Faculty of Agriculture, Kyushu University
6-10-1 Hakozaki, Higashi-ku, Fukuoka 812-8581
Tel : +81-92-642-3104,3183
E-mail : gjinzai@agr.kyushu-u.ac.jp
<http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/Gjinzai>
<http://www.facebook.com/KyushuUniv.Gjinzai>

【国際的視野を持ったアグリバイオリダーの育成】

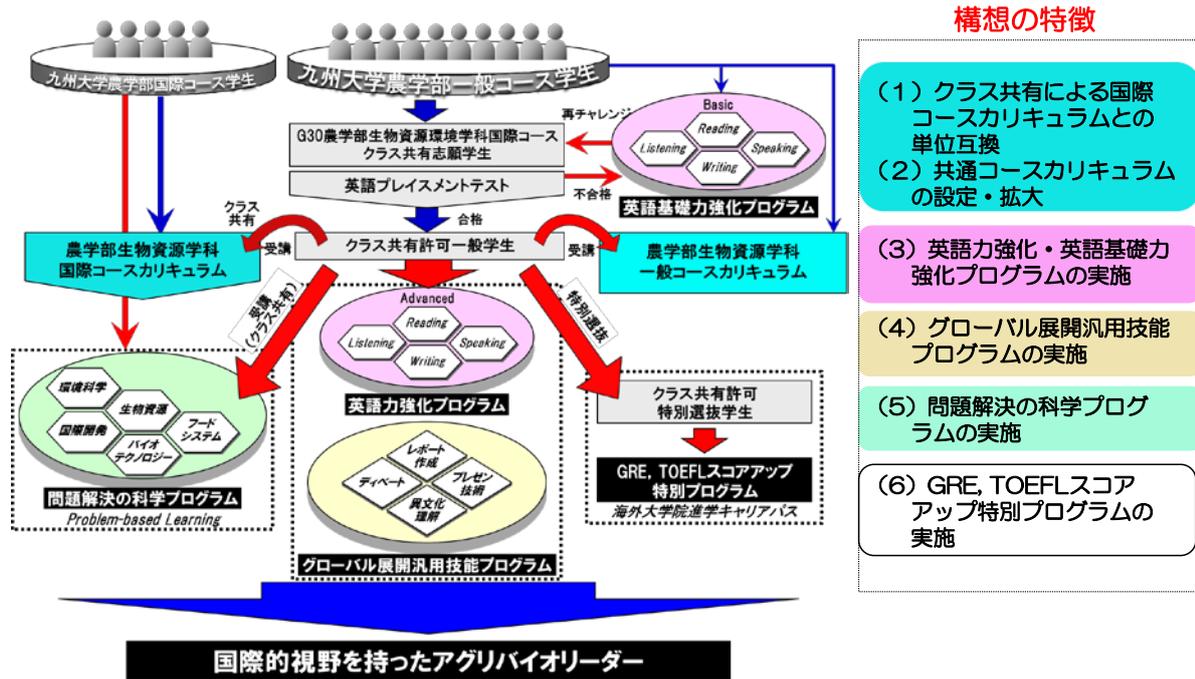
実施責任者： 農学研究院長 吉村 淳
 実施担当者： 農学研究院副研究院長 中尾実樹
 農学研究院主幹教授 岡本正宏

【概要】本構想は、国際的視野をもったアグリバイオリダー人材育成プログラムであり、その理念は、平成 24 年度で第 3 期生入学となる、九州大学農学部生物資源環境学科国際コース (G30) の外国人留学生 (毎年 5~10 名程度) と農学部一般入試で入学した一般学生の 1~2 割程度 (毎年 20~46 名程度) をクラス共有させ、英語で行われる講義科目を受講し、それらの講義科目に相当する日本人一般学生用講義科目との単位互換を行うことで、クラスを共有する一般学生が、英語を通してアグリバイオの広範な基礎知識や専門分野の知識・技術を学ぶことへの障壁を解消させることにある。この構想実現のために、具体的には、以下の取り組みを行う。

- 1) 下記の農学部国際コース学生とのクラス共有を志願する農学部一般学生に対しては、英語の 4 技能 (リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング) をチェックする英語プレースメントテストを受験させ、一定のレベル (TOEFL-iBT 80 相当) 以上の一学年 20~46 名程度の農学部一般学生を選抜する。一定のレベルに達しなかった志願学生には、英語基礎力強化プログラムを受講させ、再チャレンジを可能にする (半年間受講後、プレースメントテスト再受験)。
- 2) 選抜された 20~46 名程度の農学部一般学生と 5~10 名程度の農学部国際コース学生のクラス共有講義 (語学科目を除く G30 学生用の全学教育科目と専攻教育科目の一部 (英語による授業)) を開講・受講させ、一般学生用の講義科目との単位互換を可能にする。したがって、クラス共有を許可された一般学生は、通常の一般学生用の講義科目 (必修、必修選択、選択) とクラス共有講義科目 (必修、必修選択) の両方を受講できる (卒業修了要件単位数は通常一般学生と同じ)。
- 3) クラス共有許可の一般学生に対しては、英語のプレースメントテストによるクラス分けを行い、英語力強化プログラム (学部 3 年間) を履修させる。さらに、九州大学と学生交流協定を締結している米国大学や City University of Hong Kong 等に優先的に短期留学させるシステムを確立する。
- 4) さらに、本プログラム受講生から特に優秀な学生 (各学年あたり、4~5 名程度、TOEFL-iBT 100 相当以上) を選抜し、米国等の一流大学の大学院進学候補者あるいは、九州大学大学院進学後のフルブライト奨学金奨学生候補者として位置づけ、GRE、TOEFL 等のスコアアッププログラムを受講させる。
- 5) クラス共有許可の一般学生には、TOEFL-iBT を定期的に受験させ、英語力のグレードを常にチェック・指導する体制を確立する (TOEFL-iBT 80 相当以上を維持させる)。スコアによっては、クラス共有と英語力強化プログラムの受講を不許可にし、クラス共有の質の保証を確保する。
- 6) クラス共有の学生 (国際コースの留学生+クラス共有許可一般学生) には、通常カリキュラムに加えて、日本・ASEAN 農学における最重要で未解決な問題解決の科学プログラム関連講義科目 (Problem-based Learning (英語による講義)) を設定し、その講義科目の受講を必修とすることで、英語によるプレゼン能力、ディベート、問題に対する解決策の提案能力等のグローバル展開汎用技能を修得させる。受講場所は、九州大学農学部および ASEAN 学生交流協定校とする。必要単位数を修得した学生には、卒業時に、九州大学農学部より修了認定証を発行する。

【育成するグローバル人材像】九州大学農学部が望むグローバル人材像は、『次世代農学 (アグリバイオ) の広範な基礎知識と各々の専門分野の知識・技術を習得し、農学を取り巻く地域・地球規模の課題を解決するための汎用技能 (多文化・異文化に対する知識、問題解決力、論理的・創造的思考力等) と俯瞰的視野を持って把握し、国際的にリーダーシップを発揮できる人材』と捉えている。また、そのような人材は、大学・研究所のみならず、官公庁、政府機関、商社を含む国内外民間企業、国連、国際協力機関、NPO 等が望むアグリバイオリダー像と合致する。

【構想の概要図】



構想の特徴

- (1) クラス共有による国際コースカリキュラムとの単位互換
- (2) 共通コースカリキュラムの設定・拡大
- (3) 英語力強化・英語基礎力強化プログラムの実施
- (4) グローバル展開汎用技能プログラムの実施
- (5) 問題解決の科学プログラムの実施
- (6) GRE, TOEFLスコアアップ特別プログラムの実施

【日本人学生と国際コース (G30) 学生とをマージした教育体制 (英語による共通コースカリキュラム) の確立】

第1期 (5年間) の推進事項

- (1) ある水準以上の英語能力を持った学生が、英語、日本語どちらでも受講できるカリキュラム制度の構築
- (2) 日本人学生と国際コース (G30) 学生とをマージした教育体制 (英語による共通コースカリキュラム) の確立
- (3) 英語基礎力プログラムを充実させ、クラス共有が可能となる学生の割合の増加
- (4) 短期の海外留学をさせる大学の選定・留学期間の設定 (年間8名以上を短期留学 (3か月~1年) させる)
- (5) 日本人学生の春入学に加えて秋入学の実施
- (6) 理系学部での英語研修プログラム設置 (英語で学ぶアグリバイオプログラム設置)
- (7) 海外大学院進学へのキャリアパス作り

